

■荒木さんの福岡県民体育大会の成績一覧  
(嘉穂郡(桂川町)代表選手としての出場)

年度	年齢	種目(50m)	成績
平成20年度	64歳	背泳ぎ	優勝
平成21年度	65歳	背泳ぎ	優勝
平成22年度	66歳	バタフライ	準優勝
		背泳ぎ	準優勝
平成23年度	67歳	バタフライ	優勝
		自由形	準優勝
平成24年度	68歳	バタフライ	優勝
		自由形	準優勝
平成25年度	69歳	バタフライ	準優勝
		背泳ぎ	優勝
平成26年度	70歳	バタフライ	準優勝
		背泳ぎ	優勝
平成27年度	71歳	バタフライ	準優勝
		背泳ぎ	3位
平成28年度	72歳	バタフライ	優勝
		背泳ぎ	準優勝

◆9大会16種目出場

◆優勝7回・準優勝8回・3位1回

※年齢は大会出場時のもの



県民体育大会で7度優勝の73歳 Araki Tsuneho

荒木 素穂 さん(九郎丸)

鉄人——鉄のように力やからだの強い人。(岩波書店『広辞苑』より)

あ る分野において活躍し、特に強い精神力を伴う人物を、人は称賛の意を込めて「鉄人」と呼ぶ。

桂川町にも、「鉄人」と形容できる方がいるのをご存じだろうか。今年度の福岡県民体育大会、70歳〜74歳の部バタフライ50mで優勝、同部背泳ぎ50mで準優勝を果たした荒木素穂さん(73歳・九郎丸)だ。



45歳のときに水泳を始めたという荒木さん。「仕事のストレス発散のために、スイミングスクールで練習をしていました」と荒木さんは振り返る。その頃から、所属するチームで日本水泳マスターズに出場し、リレーで日本記録を打ち立てるなど活躍。

平成20年度からは嘉穂郡(桂川町)代表の選手として県民体育大会に9大会にわたり出場。7度の優勝を筆頭に、表彰台の上に立ち続けている。これまで、桂川町の選手として県民



体育大会で個人優勝したのは、荒木さんを含めわずか2人しかない。このほか、日本マスターズ水泳大会に出場し、平成26年度には70〜74歳部門で全国15位の記録を残すなど、荒木さんの活躍は留まるところを知らない。

70歳を超えても挑み続けるその姿勢は、まさに鉄人の名にふさわしい。

年齢を感じさせない若々しさを維持する荒木さんだが、活躍を続けることができる理由について、「体幹があるんでしょね」と照れ笑いを見せる荒木さん。「体を悪くしたこともありませんが、水泳を続けることで健康体でいられています。疲れていても、ひと泳ぎするとスッキリして、その後に飲むお酒がおいしいんです」と荒木さんは笑う。

今後の目標について聞くと、「水泳をもっと鍛えて、これからも大会に出場し続けたいですね」と荒木さんは意欲を燃やす。

桂川町の鉄人の挑戦はどこまで続くのか。今後も注目していきたい。